

平成 28 年度 県立海洋科学高等学校 不祥事ゼロプログラム検証結果

	課題と目標	取組み	評価
(1)	<b>公務員としての基本に立ち返った行動の再徹底</b> 教育公務員であるとの自覚を深め、生徒、保護者及び社会から信頼される行動をとる。	4 月に職員行動指針の内容を周知徹底するとともに、適切な県民対応などの具体について時期に応じた実践例を紹介して、継続的な意識啓発や注意喚起を行った。	A
(2)	<b>セクハラ・わいせつ行為の防止</b> 教育公務員として自覚を深め、人権感覚の醸成に努め、セクハラ・わいせつ行為の根絶を図る。	7 月に点検シートによるチェックを実施した。また 8 月にはセクシャルハラスメントや LGBT 問題に関する職場研修会等を実施し、職員の意識啓発を図った。	A
(3)	<b>体罰・不適切な指導の防止</b> 生徒の人権を尊重し、信頼感が育まれる適切な生徒対応に努め、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	10 月に体罰防止研修会（アンガーマネジメント）を実施した。また、職員会議や朝の打合せ等で時期に応じた実践例を紹介して、体罰、不適切指導の防止に向けた意識を深めた。	A
(4)	<b>成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</b> 調査書や通知表の作成及び取扱いに、成績処理に関するミス防止する。	各学期末の成績処理期間に先駆けて、成績処理に関して起こしやすいミス想定し、それを未然に防ぐ留意点を考える職員研修会を実施した。成績処理の時期には、朝の打合せでミスの具体例を示し、職員の意識向上に努めた。	A
(5)	<b>個人情報等の管理、情報セキュリティ対策</b> 個人情報等の不適切な取扱い及び流出を未然に防止し、情報セキュリティ対策の徹底を図る。	個人情報取扱いについての指導・啓発は、4 月当初から朝の打合せや職員会議等で再三にわたり行ってきた。校内保管の USB メモリの管理方法の強化など、個人情報の保護・流出防止に向けて徹底して取り組んできた。	A
(6)	<b>会計事務等の適正執行</b> 会計事務処理（公費・私費・現金管理）に関する事故の発生を未然に防止する。備品の適切な管理を行う。	私費支出伝票等の会計関係書類の作成や執行には特に留意して確認し合った。2 月には研修会を実施し、適切な会計処理について全職員で再度確認した。また、備品物品の確認と管理を定期的実施し、状況の確認を行った。	A
(7)	<b>入学者選抜業務における事故防止</b> 入学者選抜業務における事故を未然に防止する。	11 月に職員会議で今年度入選の概要説明を行い、全職員に対して事故防止への徹底した意識啓発を図った。2 月職員会議では入選業務における事故防止の具体事例を周知徹底した。また、マニュアルの徹底を図り、入学者選抜業務における事故を未然に防止した。	A
(8)	<b>実習船による事故防止</b> 湘南丸、わかしおの安全運航に務め、実習を安全で円滑に実施し、関係機関・地域等との相互協力の上で事故を防止する。	毎月の船内会議の後に不祥事防止についての研修会を開催し、乗組員の意識啓発と資質向上に努めた。	A
(9)	<b>その他</b>	不祥事に係る記者発表資料の掲示チェックシートの活用、外部講師による薬物乱用防止講演、朝の打合せ等による注意喚起など。	A